トビタテ！留学JAPAN　日本代表プログラム　留学状況報告書

※留学状況報告書はExcelデータで提出してください。（ファイル名：留学状況報告書_●期_学生個人番号_学生氏名.xlsx）

●基本情報

学生個人番号	MZ162R17601003
氏名(漢字)	林香恋
氏名(ひらがな)	はやしかれん
所属大学等名	宮崎大学
所属学部/研究科/学科	教育文化学部/人間社会課程
所属学科/専攻/コース	社会システムコース
課程(▼で選択)	学部
留学修了時の学年(○年)	2年
期　(○期)	5期
コース　(▼で選択)	地域人材コース
留学開始日(yyyy/mm/dd)	2016/11/13
留学終了日(yyyy/mm/dd)	2017/1/21

●留学の活動概要と成果

活動概要と成果 **※主要な留学先を2か所記入してください。** **2か所を超える場合は、ページ下部にある「活動概要と成果（予備）に記載してください**	1	国名	マレーシア
		都市名	クアラルンプール
		受入機関名	The Japanese Restaurant Minori 日本料理レストラン　みのり
		期間(yyyy/mm/dd)	2016/11/15～2017/1/15
		活動概要と成果	クアラルンプールのプタリンジャヤというエリアにある日本食レストランでインターンを行った。「ハラールで宮崎を世界に発信」というのが私のテーマであるため、イスラム圏における日本食の提供について学んだ。またマレーシアはムスリムだけでなく、中華系、インド系の人たちもいるため多様性の中で提供される日本食というものが学べると思い、インターンに臨んだ。 早めにデータがとれると思っていたが、やはり海外の日本食レストランということもあり値段設定が高く客層は中華系が多くマレー系（ムスリム）があまり多くなかったため中々データ収集が進まなかった。（マレーシアでは年収が中華系、インド系、マレー系の順で多い。）さらに、マネージャーはマレーシア人、ホールはフィリピン人、キッチンはミャンマー人という環境でそれぞれがマレー語、タガログ語、ビルマ語を話しており言語の問題があったが、積極的に話しかけていくことで解決した。さらにキッチンの中も見せてもらえて、使っている食材などを知ることが出来た。このレストランで使っている食材はほぼすべて日本から輸入していたので宮崎県のものを売り込めると感じた。また、ムスリムへの食事提供に関しても新たなことが分かった。 仕事場にはマレー人、フィリピン人、ミャンマー人がおり日本語を話すことが出来る人は全くいなかったが、そのおかげで私が日本人客の対応を任されて、インターン二か月目にはTop Improvement賞をうけることができた。
	2	国名	
		都市名	
		受入機関名	
		期間(yyyy/mm/dd)	
		活動概要と成果	

<table>
<tr><td rowspan="3">日本発信プロジェクト
活動概要と成果
※事前課題P22と研修で検討した内容をもとに記載してください</td><td>活動タイトル
(30文字以内)</td><td>日本→九州→宮崎発信プロジェクト</td></tr>
<tr><td>実行したこと</td><td>留学期間中、クリスマス、新年、旧正月がありほぼ休みなしでインターンが入っていたため何かイベントをするなどはできなかったのだが、職場の人たちは日本について東京や大阪は知っていても九州については知らなかったため九州・宮崎の紹介を10人ほどにした。また空いた時間等に折り紙の制作などを行った。
また、日本人が経営しているマレーシアにある会社JMGが開催するイベントの手伝いを行った。全国漁業協同組合連合会やJETROKuala Lumpurの方たちも参加してマレーシアにある日本食レストランなどの店と日本の漁業関係者とのマッチングを行った。</td></tr>
<tr><td>成果・
気づいたこと</td><td>どこの国の人たちもビーチなどは好きらしく、宮崎の写真を見せるとビーチみたいでいいね、という感想を多くもらえた。また、次の長期休みに日本に行くことにする！と言ってもらうことができ嬉しかった。また折り紙についてはバーのところに飾ってもらえた。
JMG,前後句漁業協同組合などによるイベントでは自分でも今まで知らなかった日本産水産物の魅力を多く知ることができよかった。また、マレーシアの魚より日本の魚の方がおいしいという認識があったのは興味深いと思った。このイベントでは試食会なども行ったが、実際に生産者に目の前で調理してもらい買い手が見に来るという形だったが、お互いの顔が見えるので非常にいいと感じた。</td></tr>
<tr><td colspan="2">留学中および帰国後の活動を通じて最も成長した経験とそこから学んだこと
※事後研修事前課題・事後研修の内容を踏まえて記入してください
※具体的な経験エピソードをもとに記入してください</td><td>私が留学および帰国後の活動を通じて最も成長したことは、自主的に動きながらも、人を巻き込む力の重要性を学んだことだと思う。

このプログラムでは応募用紙の提出から自分でインターン先を探すなど自主的に動かなければならないことが多いため、自分で何とかしようと全てのことに取り組んでいた。しかしそのため、物事が行き詰ったとき、今後どうすればいいか迷ったときに何も進まず他の人に迷惑をかけてしまうことがあった。しかしその時に他のトビタテの仲間や宮崎の事務局の方から、どんどん相談してくださいと言われた。それからは行き詰ったときや、そうでなくても自分に何かアイデアがある時は人に積極的に相談するようにした。その結果相談した後フィードバックをもらうことができ、さらに賛同してくれた人たちは、もっと詳しい人を紹介してくれるなどして計画が順調に、大きく進むようになった。</td></tr>
<tr><td colspan="2">あなたにとっての留学の価値
※事後研修事前課題・事後研修の内容を踏まえて記入してください</td><td>私にとっての留学の価値は、多様な価値観、優秀な能力、やる気とそれを実行する力を持った多くの人に出会えたこと、また日本・宮崎という場所の良さを再確認できたこと、さらにはそうした経験から自分の軸の発見をできたことにある。
・たくさんの刺激を受け、多様な価値観を得ることが出来た。
・複数の分野に　ネットワークを持つことが出来た。
・自主性と巻き込む力を得ることが出来た。</td></tr>
</table>

●留学機運醸成に向けた活動

エヴァンジェリスト活動企画 **※事前課題P68.69と研修で検討した内容をもとに記載してください**	カテゴリ	イベント（地域）
	活動タイトル (30字以内)	・報告会＆留学相談会 ・留学促進活動
	対象者・人数	・支援企業、高校生、大学生　計30名程度 ・宮崎大学の新入生、在学生
	実施場所	・宮崎大学まちなかキャンパス ・宮崎大学（オリエンテーション）
	実施時期	・3月下旬 ・4月4日～4月6日
	内容	トビタテ第５期地域人材コースの３名による帰国報告。 台湾に行っていた２人とともに、支援企業の方たち等に向けてプレゼンを行う。 また、プレゼン後に興味がある大学生、高校生たちとの留学相談会を行う。 宮崎大学の新入生、在学生向けの新学期のオリエンテーションにて大学の国際連携センターと協力し、留学の促進のために自分たちの留学などについて話す。
	達成目標	①支援企業尾の方たちに支援してよかったと思ってもらう。 ②留学に積極的に取り組みたいと思ってもらえるような発表内容にする。 ①少しでも留学に興味をもってもらう。 ②留学に興味を持っている人は実際に行動に移してもらえるように自分の体験談等を話す。 ③宮崎大学から今後のトビタテ生を増やす。
	実施に向けたアクションプラン	当日発表するプレゼンの作成。 当日発表のための原稿等の準備。 留学紹介のための次回のイベントの紹介。